

(仮称)宇都宮市都心部地区市街地総合再生計画 第1回策定懇談会 議事録

日時	平成23年2月24日(木) 14:30~16:30(現地視察含む)	
場所	うつのみや表参道スクエア 6階 多目的ホール1	
出席者 (敬称略)	委員	山島 哲夫, 三橋 伸夫, 林 香君, 渡辺 政行, 藤原 宏史, 柿沼 賢, 大森 郁雄, 猪森 信二, 佐瀬 敦, 水谷 毅, 江口 亜子, 江島 ゆり子
	事務局	都市整備部長, 都市整備部参事, 市街地整備課長, 再開発室長ほか5名 (株)都市環境研究所2名
欠席者	委員	西郷 真理子
公開・非公開	公開	
傍聴者	0名	
関係資料	第1回(仮称)宇都宮市都心部地区市街地総合再生計画策定懇談会次第 策定懇談会設置要領<資料1> (仮称)宇都宮市都心部地区市街地総合再生計画の策定について<資料2> 再生計画策定スケジュール(案)<資料3> 附属機関等の会議の公開に関する要領<参考資料> 宇都宮市都心部地区における現状について<資料4>	
<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 市長挨拶</b></p> <p><b>3. 委員紹介</b></p> <p><b>4. 懇談会の設置について</b></p> <p>(1)設置要領について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>事務局より資料1に基づき,説明を行った。</li></ul> <p>(2)会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>委員からの推薦を受け,全員一致により山島哲夫委員が会長及び本懇談会の議長に選任された。</li><li>会長の指名により三橋委員が会長の職務代理者に選任された。</li></ul> <p><b>5. 会議の公開について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>事務局より参考資料に基づき説明を行い,本策定懇談会の内容は原則公開とすることが承認された。</li></ul> <p><b>6. (仮称)宇都宮市都心部地区市街地総合再生計画の策定について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>事務局より資料2に基づき,説明を行った。</li><li>次回策定懇談会にて,総合再生計画に関わる上位計画の説明を行った。</li><li>上位計画等の関係資料は,各委員に後日送付する。</li></ul> <p><b>7. 議事</b></p> <p>(1)策定スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>事務局より資料3に基づき,説明を行った。</li></ul> <p>(2)宇都宮市都心部地区における現状について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>事務局より資料4に基づき説明を行った。</li></ul> <p><b>次回開催日</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>日程等の詳細については,各委員に後日連絡する。</li></ul> <p><b>8. 閉会 → 現地視察へ</b></p>		

## 発 言 要 旨

### (仮称) 宇都宮市都心部地区市街地総合再生計画の策定について

- 委員) 第5次宇都宮市総合計画や都市計画マスタープラン等の説明はあるのか。
- 事務局) 関連資料については後日送付させて頂く。また、次回策定懇談会にて内容を説明する。
- 会長) 宇都宮都心部グランドデザインは平成14年度策定であるため、グランドデザインの全てを本計画に整合させるのではなく、部分的に見直す事も必要になると思う。
- 会長) 本計画を策定していくにあたっての検討区域が非常に広域であるが、区域設定については次回に行うのか。また、基礎調査は広域に行っているのか。
- 事務局) 策定委員会にて素案を検討した後に策定懇談会にて説明する予定である。基礎調査については、グランドデザインと同区域の範囲で行っており、調査を踏まえて区域を絞り込んでいきたいと考えている。
- 委員) 本計画の名称に(仮称)がついているがいつ取れるのか。
- 事務局) 計画素案が出来上がり次第、(仮称)を取る予定である。
- 委員) まちの環境や美しさ等について魅力を感じている。自分の専門分野を活かした意見を言っていきたい。都市の環境を芸術の視点から捉えたい。美しいまちには人が集まる。
- 委員) 本懇談会の目的に中心部の活性化が含まれていると理解している。人口減少や少子高齢化等の社会構造の変化を踏まえて計画をつくっていききたい。
- 委員) まち歩きを踏まえて、東武宇都宮駅とJR宇都宮駅の拠点をどう活かしていくかを検討していきたい。
- 委員) 魅力あるまちについては様々な盛り上げ方があると思うが、一方で経済的な視点も必要であるため、双方を見ながら議論を交わしたい。
- 委員) オリオン通りや大通り等は高松市の丸亀町商店街のように集中的に再開発していければと考えている。本計画にそのような提案が盛り込めればと思う。
- 委員) 今まで様々なまちに住んできた経験を生かして、良いアイデアが出せればと思っている。宇都宮は他のまちに比べて高齢化の度合いが低いいため、今のうちに良い計画をつくりたい。
- 委員) より実現性のある計画をこの懇談会で作り上げていきたいと思っている。
- 委員) 平成6年までは中心市街地に5つ百貨店があったが、今は1つしかない。それだけ商業は厳しい状況にある。市民が中心市街地に何を求めているのかを掘り下げていきたい。再開発で箱モノだけをつくるのではなく、賑わいづくりも考えていくべきだと思う。
- 会長) まち全体の機能等を考えていく中で、まちにとっての賑わいを考えていくべきである。
- 委員) 宇都宮の戦災復興は日本で一番早く、そういった力強さが宇都宮にはある。商店街については、過去に比べて店舗数が減っているが、商店街の活性化無くしてまちの発展は有り得ないと思う。また、まち全体のバランスがとれていないといけなと考えている。
- 委員) 様々な視点を持ちながらまちを見て議論出来ればと思う。また、次回以降は基礎調査の結果を確認しながら分析等の議論をしていきたい。「無いものねだり」ではなく「有るもの探し」をして、それを活かすことを考えていきたい。
- 会長) まちの駄目な所は簡単に見つかるが、良いものを探してそれを伸ばす議論をしたい。基礎調査についてどのような項目を調べているのかを教えてください。
- 事務局) 現在は検討区域内の土地利用状況、建物の状況、人口等基本的なデータ収集をしている。それらデータを分析して現状の課題を把握する。